

わたしの 妊娠報告書

記載日 R4 年 2 月 12 日

おめでた宣言日	R3 年 2 月
年齢 (37) 歳	平成 (27) 年 (12) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(1) 年 (1) ヶ月
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 (FT , 人工授精 1回)
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (?) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (?) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (2) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 (1) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

- ・ ストレスをためない。バランスの良い食事、睡眠をしっかりとる。
- ・ 体を冷やさない。夏場でも注意し、冬はカイロを貼って暖かくする。
- ・ ネットなどの情報は集めてはいいが、鵜呑みにせず、自分に必要な情報と知るようにした。
- ・ 年齢のこともあったので、ステップアップには躊躇しなかった。オリエンテーション等、予約が必要なものは早め早めに行動した。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

- ・ すでに妊娠できると思っていたので、FT後の人工授精で妊娠しはかた
目はショックだった。だが、年齢的にも落ち込んでいることはなかった。
早くに体外授精にステップアップしたい気持ちも切りにかえった。
- ・ 筋肉注射や自己注射、多くの内服など大変だったが、出産時のつらさはこれ
以上だと自分に言い聞かせて乗り切った。

その他 (通院・治療費・家族など)

- ・ コロナ禍での治療ということもあり、感染対策は本気で気をつけて行った。
- ・ 治療費は高額というのは最初から分かっていたので、そのことはあまり考えずに
まずは妊娠することを第一に頑張った。
- ・ 主人や義母には早い段階で不妊治療について話し、協力してもらった。自分の両親
には、心配させしめようのと、コロナ禍の帰省もできなかった。妊娠後、安定期に
入ってから、初めて妊娠したこと、不妊治療というのを伝えて。

治療中の方へのアドバイス

- ・ 私は、治療を開始した時 36才でした。あと数年早く治療を始めたのなら、
もっと余裕があったと思います。どこまで子供がほしいという思いがありはら、
できるだけ受診すること、また、ステップアップも視野に入れて早く早めに
行動する方がいいと思います。

スタッフへのご意見など

通院中は大変お世話になりました。お目や祝祭日も診察してくださ
るので、予約も取りやすく、助かりました。

一度の採卵・顕微授精、移植で妊娠することができ、感謝しています。
いつも丁寧な対応で、ありがとうございます。また通院することもしませんが、
その際はよろしくお願ひします。本当にありがとうございました。